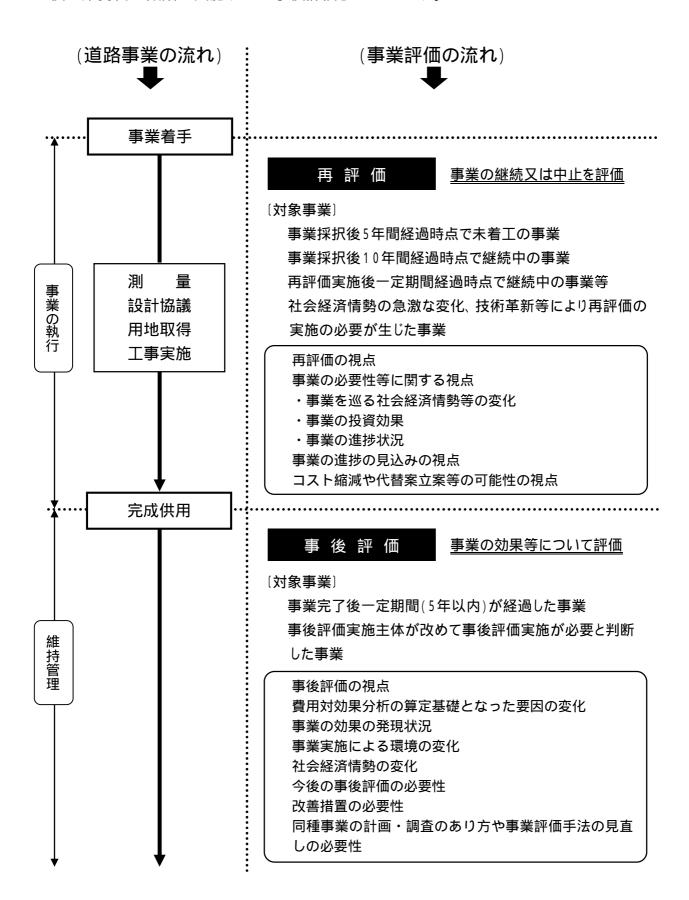
事業評価(再評価・事後評価)の一般的な手続きの流れ

当社が実施する事業評価には、事業の執行段階に実施する「再評価」と、事業完成後の維持管理段階に実施する「事後評価」があります。



再評価とは

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るために導入されたもので、事業採択後一定期間を経過した後も未着工である事業、事業採択後長期間が経過している事業等の評価を行い、事業の継続に当たり、必要に応じその見直しを行うほか、事業の継続が適当と認められない場合には事業を中止するもの。

[再評価の実施フロー図]

国土交通省所管事業

再評価対象事業

事業採択後、5年間が経過した時点で未着工の事業

事業採択後、10年間が経過した時点で継続中の事業

再評価実施後一定期間が経過した時点で継続中の事業等

社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業



再評価に係る資料の作成

再評価を行うに当たって必要となるデータの収集、整理等を行う。



対応方針(原案)の作成

対応方針(原案)を作成し、事業評価監視委員会に提出する。



事業評価監視委員会の審議

中日本高速道路株式会社から提出された対応方針 (原案)について審議を行い、不適切な点又は改善すべき点があると認めたときは、意見の具申を行う。

対応方針(案)の決定

中日本高速道路株式会社としての対応方針(案)を決定し、国土交通省に提出する。



対応方針の決定

国土交通省は、中日本高速道路株式会社から提出された対応方針(案)に検討を加え、当該事業の対応方針を決定する。



評価結果等の公表

評価結果、対応方針等を、結論に至った経緯、再評価の根拠等とともに公表する。

凡例 : 中日本高速道路株式会社が実施 : 国土交通省が実施

事後評価とは

事業の再評価に加え、一貫した事業評価システムを構築し、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業完了後の事業の効果、環境への影響等の確認を行い、必要に応じて、適切な改善措置を検討するとともに、その結果を同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直し等に反映することを企図するもの。

[事後評価の実施フロー図]

国土交通省所管事業

事後評価対象事業

完了後一定期間(5年以内)が経過した事業 審議結果を踏まえ、事後評価の実施主体の長が改めて事後評価を行う 必要があると判断した事業

事後評価に係る資料の作成等

事後評価を行うに当たって必要となるデータの収集、整理等及び改善措置の検討等を行う。

対応方針(案)の作成

対応方針(案)を作成し、事業評価監視委員会に提出する。



事業評価監視委員会の審議

中日本高速道路株式会社から提出された対応方針 (案)について審議を行い、不適切な点又は改善すべき 点があると認めたときは、意見の具申を行う。

対応方針の決定

審議結果を踏まえ対応方針を決定する。



国土交通省へ報告

審議結果、対応方針等について、結果に至った経緯等とともに国土交通省に報告する。



評価結果等の公表

審議結果、対応方針等については、結果に至った経緯等とともに公表する。

凡例

■: 中日本高速道路株式会社が実施